



厄介視された拾得場 今は神谷の大財源

磐炭發電所の焚毀更生

磐炭發電所の燃料粉炭所製人事課長、縣水産課長重枝鏡量は毎月數千噸に及びこの焚毀の捨て場所に困つたため石谷神谷村上片寄奥地の部落林野十餘町歩を捨て場に借り受けた同發電所ではケーブルカーを設けて數年來同所に運んで來る焚毀は今や小山をなしてあるが石炭不足に悩む資源開發が生んだ思ひつきが目下時ならぬ状況を呈してゐる即ち同所に捨てられた焚毀には完全に燃焼しないロストル落ちが相當に混つてゐるので此の更生に目をつけて東京の某實業家が部落に談じてこれを焚毀から質ひ受け備の撰別で取つた粉炭を練炭原料その他に充てる爲め毎日三十名位づゝの出入夫により草野驛までの小運搬で同縣から貨車積みで下シ送られてゐる其の量は現在すでに一日數車に及び地元神谷村でも思ひもつけぬ財源に大喜びをなしてゐる

聯合分會の 武術大會

湯本分校と神谷射場
郷軍石城聯合分會第十二回武

稲作は稀有の發育 早稲種は弗々出穂

畑作物も近年にない大當り 銃後農村の大フク

石城地方の稲作は挿秧當時にみとされた水の不足も無難に過ぎて其の後晴雨度をなす順調な天候に近年にない好發育で各所の早稲種はすでに豊かな穂孕みから出穂をはじめてゐる、作物は勿論今後の天候に關することではあるが目下の情況では稲作の豊作を豫想されてゐる、日頃の天候に不足を云へば去月以來盛雨つと曇雨勝ちが續いてゐることだか気温が割合に下らず稲草の發育に大した障害でなくた

選抜五十名の 漁青講習會

十四日から江名校で 縣及び大日本聯合青年團主催 の漁村青年指導講習會は既報 の如く來る十四日から三日間 江名校於て開催されるが講師 は大日本青年團農漁課の上野良平、仙台地方海軍

支那單語

私は今日午後出發する
と事ふことを我々天下
午要走りウオゾンテ
ンシフワイヤオツオウ
と唱ひボーイ勘定書を
持つて來てくれは計
給い開帳案でホーデー
ケウオカイデアンライ

警防後援會の 評議員會

昨日市役所で
平市警防團後援會に於ける資
金造成が豫期以上の好績で目
標の三萬圓を突破したことは
慶報の如くであるが昨日午
前十時から市役所に同會評議
員會を開いて大谷副會長から
寄附募集につき詳細な報告が
ありたる後團の後援事業に關
する協議をなした

戰地の便り 片奇織江

百度以上の日中に 瀧なす汗の行軍

前略御免下さい、此の度は
御慰問の品々有難うござい
ました、早速御禮狀をと思
ひながら多忙に取紛
れ遅くなりましたことを御
詫言申上げます、小兵器は
益々元氣で毎日を送つて居
ります、當地は餘蘆の季節
も過ぎて一團夏の候とな
りました、水銀柱はどん々
昇る一方、日中外に於
ては百度以上であります、
その中の演習に軍に浸み
出す汗は瀧を流し上る衣を

防空映畫會

来る十一日から
平野では防空思想普及のため
左記日割に管下各所に映畫會
を開催する

平野管下の 防空映畫會

△十一日夜入山炭礦、十二
日雲小名濱、同夜日本水素
十三日夜豊間、十四日雲湯
本、同夜磐城炭礦住吉坑、十
五日夜古河炭礦、十六日同
長倉坑、十七日同岩崎、十
八日同赤井日曹、十九日同
品川白燐、二十日同片倉
製糸(以上)

家庭群國防献金

石城郡赤井村の湯作家庭防
御金は五圓、同不動堂群は四
圓、常任群は六圓八十錢何れ
も訓練後の慰勞費を節して國
防献金方平習に寄託す

四倉で弓道大會

四倉町警備セメント主催の弓
道大會は明日同工業所構内
に於て催されるが参加者は仙
台、日立、郡山、平の四市を
はじめ地元方部から百余名に
上るものゝ如くである

知事から褒狀

四倉町の宇田原欣次郎氏
は日本本縣支那支那支那支那
金二百圓を寄附されたに對
し此ほど橋本知事から褒狀を
贈られた

本多翁國防献金

四倉町観川の丸天昆布製造所
の宇田原君は君が世思ふことの
まがつみとは禍のこと、
よき雲のおほふ姿はかわれども
よろづ代おなじ天日日のかげ

白砂村人編

精神國民百人一首 (19)

書を整理して不圖こんなものを見出した、それは現代畫壇の巨匠橋本國雪畫伯が選集印刷したものを森下博氏が複製頒布したもので其編輯と頒布の理由は畫伯の序文と森下氏の處皇の辭で明瞭であるから兩つながら採録することにした、紙上質問に御答へ致します

久坂立瑞

長門の人、名は通武、木戸孝允等を友とし、元治元年
京都に戦死す、
かくすればかくなるものと知りながら
やむにやまれぬ平とたましひ

三樹三郎

名は醇、鴨居と號す、山陽の三男なり、慷慨激烈途に
江戸に罷送されて刑に死す、

家庭群國防献金

石城郡内郷村の鬼ヶ澤農務良
之助(三)は去る一日午後一時
半頃自宅附近の溜池で魚釣中
誤つて轉落したものをらしく行
方不明となり警防團員の出動
で捜してゐるが昨日夕刻ま
ではまだ発見されない

老夫の釣が行方不明

主本多辰吉翁は金百五十圓の
國防献金を去る一日町役場に
寄託した

事務用ソロバン
雲州産
神國式ソロバン
播州産
優廉印ソロバン
どちらも事務用ソロバ
ン中の一流品、材料の
精選、技術の優秀は申
すまでも御座います
向小學用四玉ソロバ
ンも豊富入荷いたして
居ります
平市盛徳小路
魁文堂
電話313番

家庭群國防献金

石城郡赤井村の湯作家庭防
御金は五圓、同不動堂群は四
圓、常任群は六圓八十錢何れ
も訓練後の慰勞費を節して國
防献金方平習に寄託す

四倉で弓道大會

四倉町警備セメント主催の弓
道大會は明日同工業所構内
に於て催されるが参加者は仙
台、日立、郡山、平の四市を
はじめ地元方部から百余名に
上るものゝ如くである

知事から褒狀

四倉町の宇田原欣次郎氏
は日本本縣支那支那支那支那
金二百圓を寄附されたに對
し此ほど橋本知事から褒狀を
贈られた

本多翁國防献金

四倉町観川の丸天昆布製造所
の宇田原君は君が世思ふことの
まがつみとは禍のこと、
よき雲のおほふ姿はかわれども
よろづ代おなじ天日日のかげ

白砂村人編

精神國民百人一首 (19)

書を整理して不圖こんなものを見出した、それは現代畫壇の巨匠橋本國雪畫伯が選集印刷したものを森下博氏が複製頒布したもので其編輯と頒布の理由は畫伯の序文と森下氏の處皇の辭で明瞭であるから兩つながら採録することにした、紙上質問に御答へ致します

久坂立瑞

長門の人、名は通武、木戸孝允等を友とし、元治元年
京都に戦死す、
かくすればかくなるものと知りながら
やむにやまれぬ平とたましひ

三樹三郎

名は醇、鴨居と號す、山陽の三男なり、慷慨激烈途に
江戸に罷送されて刑に死す、

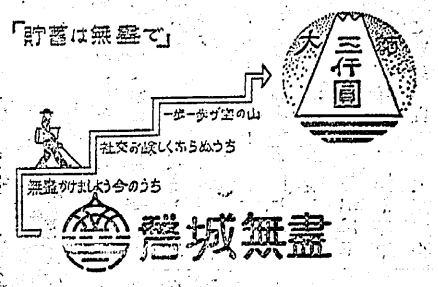
農業

稲熱病に注意せよ(二)

病候と豫防法

また節イモチと云つて節がぼろぼろになり、こゝから折れ易くなつて大害を及ぼすことがある、その他類に發病する「籾イモチ」もある、イモチ病は一種糸状菌即ちカビの寄生によつて起る傳染性の強いもので、それが葉イモチ、節イモチ、籾イモチの部分に菌糸の羽で生き残つてをり、又病氣に罹つた部分に出来、胞子で冬を越し翌年の第一次發病の源となる、第一次發病をすれば、そこに胞子をつくつて傳染し再び胞子を作つて次々に傳染して行く、この小さな胞子が空氣中に浮遊して所謂空氣傳染で蔓延するのである、イモチ病は一般に温暖で濕氣の多い時發生が多い、攝氏二十六度：三十度で雨の多い場合、または山間地帯のやうに霧のかゝり易い場所は發生が多い、然しまた氣温二十五度以下でも稲が生理的に障害を受けてゐる場合にも激しく發生する、冷イモチ、水口イモチと云つた冷たい水のかゝる所や水口に發生の多いのがこの例である、また土壤の乾燥した時にも發生が多いので今年などは極めて警戒を要する、また肥料との關係は極めて顯著で多肥特に有機質肥料(糞肥)の多過ぎる場合、窒素肥料のみを多く施した時など起るのがそれである、これを「肥イモチ」

と云ふ、以上の通りまことに多方面の條件から發生する厄介至極のものである、



命の御用は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

貯蓄は無盡で

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

平市南町 電二五八番

應入 需院

食 茶 喫 酒 場 兼 ね た

サロ

平市銀座街 電話五九二番

營業時間

開店：午前十時
 閉店：午後十一時
 一時より、
 閉店：午後十一時

平田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

入院應需(自炊の便あり)

電話六六九番

大小の御宴會にホー儿

御家族の御同伴に御座敷

いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二二三番)

根本 婦人科醫院

平市南町

根本 莊次郎
 根本 貞雄

電話三四番

(入院隨時)

和洋銅器、金物問屋

三三三屋

九九・九番

新時代の要求

経済的を御便
 官御用命を
 願ひ致しませ

平看護婦會

電話三〇七番

御手不足の御家庭
 軽い御病人の付添
 妊婦産婦の御家庭

内科、小兒科
 外科、花柳病科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科

平市南町 電話五一三番

高久病院

院長 醫學士 高久忠

平病院 (平市元共濟病院跡)

院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 院 長 鈴木定藏
 小兒科 院 長 高橋俊幸
 一般外科 副 院 長 鈴木定藏
 皮膚泌尿科 院 長 鈴木定藏
 レントゲン科 院 長 鈴木定藏
 物理療法科 院 長 鈴木定藏
 藥劑科 部 長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
 夜間診療に從事す(急患は此の限りにあらず)

カバと洋品類

平市南町(新通) 眞砂屋 (電話五六)

債券、公債、両替、金融

多田井質店

平市大工町 電話五九一番

便利で 經濟な 日下家政婦會の 派遣婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
 何を任せしてもご安心です
 平市一丁目三十一番地(電話七二三番)

日下家政婦會

會長 日下すい子

會員同志の御加入(派遣なき期限に裁縫等)を御認ひ致します(編物をお教授致します)